

地盤品質判定士会中部支部 令和7年度 第4回 幹事会 議事録

- A. 日 時** 2025 年 10 月 31 日(金) 15:00～17:00
- B. 場 所** 国際航業 中部事業所 会議室 および Zoom
- C. 出席者** 千野克浩、桃井信也[W]、居川信之[欠]、利藤房男[欠]、向井克之[W]、谷口一平[W]、長沼明彦、福島宏幸、北林篤[W]、小嶋広幸[欠]、堀中敏弘、菊地將太[W]、倉橋智[W]、藤代祥子[欠]、小山彰[W]、後藤弘明[欠]、広瀬義純[W]、品川恭一[W]、金森聡一郎[W]、山名真広[W]、植田博文[W]、竹田哲弘、高森陽一
([欠]は欠席、[W]は Zoom 参加、敬称略、順不同)

D. 配布資料

- ・報告-1 地盤品質判定士会中部支部 第3回幹事会議事録の確認（司会）
- ・報告-2 本部幹事会報告（支部長）
- ・報告-3 地盤に関する問い合わせ状況（調査 G）
- ・報告-4 資格試験運営報告（支部長）
- ・審議-1 講演会反省会[報告資料・予算・振返り]（行事 G）
- ・審議-2 防災フェスタ準備状況・役割分担（広報 G）
- ・審議-3 盛土規制法支部対応について（行事 G）

E. 報告事項

1. 前回議事録の確認（報告-1）

前回、第3回幹事会（9月12日）の議事録を確認した。

2. 本部第幹事会報告（報告-2）

9月17日に実施された本部幹事会内容について確認した。

- ・賛助会員が1社加入した。
- ・住宅地盤の安全安心講演会会告案についての説明があった。日時は12月11日(木)であり、興味のある方はぜひ参加いただきたい。
- ・判定士会では、宅地地盤を住宅地盤に統一して表記する。
- ・講習会の運営マニュアルが作成された。企画～運営、CPDの申請、金額決定等についての記載があり、今後、支部へのマニュアル展開が図られる。
- ・今後、講習会会費は、消費税を加える金額で請求を行う。
- ・下関市で開催された地盤工学会全国大会において、実施した市民相談は事前PR不足や

実施場所等もあり人が集まらなかった。下関市での実施方法等資料を提供してもらい、次回に活かしていきたい。来年は静岡で実施され、中部支部員が対応にあたることから、ポスター作製等の PR 活動をもっと早くから着手する必要がある。

- ・盛土規制法関連の審査機関関連の報告で、現在、20 自治体ほどの問い合わせに対応している。判定士会の HP に、審査支援に関する情報を掲載した。
- ・令和 7 年度収支実績&収支予想管理の報告があった。収支は黒字化できており、余剰金が出来そうである。そのため、まずは、本部幹事会の交通費支払を検討してはどうかという案がでている。
- ・自治体へ提出する見積表紙の様式について通知があった。

3. 地盤に関する問い合わせ状況について（報告-3）

3-1 相談状況について

前回幹事会以降で 2 件の相談があった。

- ・建築工事がほぼ完了した段階で、地盤改良工事の追加工事が必要であるとの報告を受けて説明に不安を感じたことから、第三者の見解による安全性確認を実施してほしい。という問い合わせ内容であった。

詳細資料の提供を依頼したが、後日、対応者が決まったので、問い合わせの取下げの連絡をいただき、終了となった。

- ・豊田市より、既存盛土に対して勧告通知を受けたことから、安全性把握調査を実施してほしいという問い合わせ内容であった。

中部支部では、調査業務の受注はしていないことを説明し、特定の企業紹介を実施することはしていないことも説明した。判定士会 HP に賛助会員の一覧があるため、相談者が直接企業を選択していただくように依頼して終了とした。

3-2 相談実施状況

相談件数は、今年度は 1 件（相談後、未対応案件は 4 件）であり、低調な状態が続いている。

4. 資格試験運営報告（報告-4）

10 月 26 日（日）に名古屋会場での試験が実施され、中部支部から支部長と幹事 4 名の計 5 名で対応した。試験者は応募者 24 名に対して出席者は 20 名であった。本年は修正事項もトラブルもなくスムーズに実施できた。来年も試験の実施が予想されるため、幹事の持ち回りで協力をお願いしたい。

試験用紙と解答用紙を配布する前に資料等を鞆にしまうようにアナウンスしてはどうか。受験票の取扱いについてのアナウンスが必要ではないか。遠方からの欠席者が多かったことへの対応がとれないか。などの議題が上がり、支部長から本部への報告をすることとなった。

F. 審議事項

1. 講演会反省会（審議-1）

- ・会場参加者 18 名、WEB 参加者 14 名、欠席者 2 名、講師 4 名であった。
 - ・収支は黒字を計上できた。
 - ・来年は 9/25 または 10/2 を目途として計画予定。内容は地盤の DX についてはどうかという案があり、3 月までを目途に決定したい。
 - ・アンケートでは概ね好評の評価が得られたが、以下についての要望があった。
 - 会場でコンセントを借用したかった(PC 等への電源供給)
 - 講演会の申込み先が非常に判りにくかった。
- 今回の申込み案内では以下の問題が挙げられ、次回には対応したい。
- ①支部 HP への案内掲載が遅れた。
 - ②本部 HP の講習会リストになかった。←本部へ依頼しないと掲載されない
 - ③メールの申込みリンク先を申込みのページにリンクしていなかったため、申込みまでの到達が困難であった。

2. 防災フェスタ準備状況・役割分担（審議-2）

11 月 9 日(日)にイオンモール豊川で開催予定であり、判定士会中部支部も出展する。出展は、今年も名古屋大学減災連携研究センターの隣となる。

- ・防災フェスタのマニュアルは近日中に届けられる予定。
- ・搬入用の車両は 1 台のみであり、支部長に対応いただく。
- ・今年も展示品を減災連携研究センターから借用する予定である。借用物および借用方法の詳細を確認しておく。
- ・当日のブース対応者は、千野支部長、居川副支部長、北林幹事、倉橋幹事、竹田幹事で対応予定。他の幹事にも対応をお願いしたい。
- ・前は全員スーツで対応したが、今年は私服やビジネス着用で対応してはどうか。

3. 盛土規制法支部対応について（審議-3）

盛土規制法に関わる問い合わせ対応が発生した。今回の問い合わせに対しては以下の理由より対応をお断りすることとした。

- ・現時点の中部支部では、地質調査等契約に基づく業務は受けていないこと
- ・勧告案件のため、確実に対応できる企業をお引き合わせすることが難しいこと。

今回のような相談は今後も発生する可能性が高く、中部支部としての対処方法・連絡手順について検討する必要がある。

本部への確認を実施し、基本方針として以下の 2 点を順守した対応を実施する。

- ・地盤品質判定士会として特定の業者を示すことはしない(一覧表示して選ばせる)。
- ・案件に対して、受発注の両方の立場にはなってはならない。

現状として相談者の意に添った対応はできない。中部支部として相談者へのサポートが出来る方法がないか情報収集する。

G. その他

勉強会として「ルートパイル工法紹介」について竹田幹事に発表いただき、意見交換を実施した。

・次回幹事会の予定

- ・2026年1月16日(金)予定 [幹事会后、意見交換会を実施予定]

以 上